

平成 31 年1月 27 日(日)水泳部主催寒中水泳大会挨拶

おはようございます。教育担当理事の奥田一雄です。

第 66 回高知大学水泳部主催の寒中水泳大会を始めるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨日は日中雪が舞っておりました。本日はすこし寒さが緩みましたが、寒中水泳大会にふさわしい絶好の寒い晴天となり、大変うれしく思います。

さて、寒中水泳大会、今回で第 66 回を数えます。私の年齢が 64 歳なので、私が生まれた時にはすでにこの大会が開かれていたということになります。

また、高知大学は新制大学として 1949 年に創立されました。今年 2019 年なので、本学は創立 70 周年を迎えます。70 年の長い歴史の中で柔道部は実に 66 回にわたる寒中水泳大会を催し続けてきました。その意味で、伝統行事であります。

寒い日に水に入ることから、寒中水泳は「滝行」と似ています。心頭滅却すれば火もまた涼しとも言いますが、滝行では、滝に打たれることで体を清めて禊を行い、これから新たな人生を歩むきっかけとする行為であります。寒中水泳においても、参加者の皆様それぞれが良い年となるようお祈りしたいと思います。

最後に、冷たい水に裸で入ることは危険なことであります。皆様には、決して無理をせず、楽しく、無事にこの寒中水泳大会を終えることができるよう願っています。

以上